

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed>

先日、校長室を訪れた男の子がぽつりと一言、「むかむかしている時には、みんなのちょっとした言葉が気になるんだ」。そういえば、誰でも気持ちの持ち方一つで受けとめ方が変わりますね。でもその前に、チクチク言葉（バカ、キモイ、死ね など）と**ふわふわ言葉**（ありがとう、上手だね、ドンマイ など）があります。どんなに腹が立っても心を温かくしてくれる**ふわふわ言葉**を心掛けたいものです。マスコミをはじめ、言葉の乱れが感じられてきている現代、子供たちには、繰り返し伝えていきたいことなのだ、改めて感じたひと時でした。もちろん大人も日常を振り返ってみる必要がありますね。

「その一言で」

道灌山学園 高橋系吾さん

その一言で、励まされ

その一言で、夢をもち

その一言で、立ち上がり

その一言で、がっかりし

その一言で、腹を立て

その一言で、泣かされる

ほんのわずかな 一言が

不思議に 大きな力持つ



ほんのちょっとした一言で！ 私達は日頃、家庭や職場で、さまざまな人と会話を交わしています。家庭や友達など本当に親しい人との会話もあれば、職場の先輩・上司、後輩・部下、あるいはお客様など仕事を通しての会話などもあります。真剣な会話もあれば心の和らいだ会話もあります。みなさんは、それらの会話の中のほんのちょっとした一言が、相手を楽しい気持ちにさせたり勇気づけたり、あるいは逆に相手を悲しい思いにさせたり反発を買うことになったりという経験はありませんか？私の周囲にも、もしかしたら私の何気ない一言で、傷ついたり怒ったりしている人がたくさんいるのかも知れませんが…。



私達は普通、相手の方を楽しい気持ちにさせようとか、悲しい気持ちにさせようとか思いながら話をしている訳ではなく、何気ない気持ちで話をしていきますね。でも、その何気ない会話の中の、ほんのわずかな一言、ほんのちょっとした一言が、相手の心の中に入り込み、それがプラスの作用をしたり、あるいは逆にマイナスの作用をしたりすることになります。たくさんの会話の中で、不思議に大きな力をもつのが、ほんのちょっとした一言です。皆さん、**ふわふわ言葉**を大切にしていきましょう。



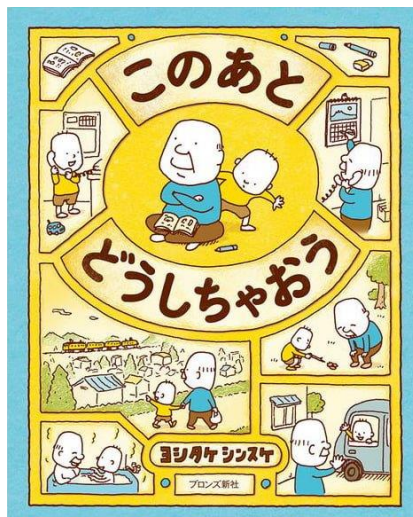
15日、源小との合同開催による陸上記録会が日世スタジアムで行われました。自己ベスト目指し、タータンや芝生の感触を楽しみながら精一杯頑張っている姿が印象的でした。児童の健康管理、応援等ありがとうございました。次は修学旅行です。

## 本の世界から

11月3日の文化の日をはさんだ前後2週間は、読書週間です。新型コロナウイルスの関係で規模は縮小されますが、本校でも10月30日から読書週間の取組が始まります。読書週間は、終戦間もない昭和22年、戦火の傷跡が残る中で始まりました。人は生きることによって精一杯で、本など読んでいる状況ではないように思えますが、そんな時だからこそ、人は希望や夢や生き方などを本の中に探し求めたのかもしれないですね。東日本大震災後、被災地に訪れる移動図書館の本に目を輝かせる子供たちの姿も印象的でした。



ところで、本校の図書室にヨシタケ シンスケさんの「このあと どうしちゃおう」という絵本があります。「こないだ おじいちゃんが しんじやった」という男の子の一言で始まる本です。おじいちゃんが死んだ数日後、おじいちゃんの部屋を掃除していると、一冊のノートが出てきます。ノートの扉には「このあと どうしちゃおう」と書かれています。ノートを開くと、おじいちゃんは自分が死んだ後の予定や天国で会いたい神様のことや、想像した天国の様子、生まれ変わってなりたいもの、みんなを見守る方法など、死んだ後にどうしたいのかがたくさん書かれています。「なんだか楽しそうだけど、おじいちゃんは死ぬのが怖かったんじゃないのかな」と男の子は考えます。そして自分も同じようにノートを作ってみようと思い立ちます。早速ノートを買って、自分が死んだ後のことを考えます。そうすると、**今、生きている間にやりたいことがいっぱいあることに気づきます。考えなければならないこともいっぱいあることに気づきます。**結局男の子は、自分らしいノートを作ることになりました。タイトルは「生きているあいだは どうしちゃおう」というノートです。そして、自分は何をしたいのか改めて考えてみます。



子供たちには、これから時間がたっぷりあります。やりたいことをいっぱい思い浮かべて、それに向かって準備をし、どんどんチャレンジして行ってほしいと思います。やりたいことがいっぱいある子供たち、そんな夢を持った子供たちがたくさんいる学校をつくりたい、それが今、私のやりたいことです。「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」、どの子にとってもそんな学校になってくれることを願っています。

若いころには、やりたいことはたくさんありました。夢もありました。でも、年齢を重ねていくうちに少しずつ減っていき、だんだんと現実的になってきています。

**限りある時間の中で、後悔をしない生き方をしてほしい。**子供たちの大いなる夢、やりたいことのため、保護者の皆様、今を大切にしながら大いにバックアップをしてあげてください。また、よき理解者としてアドバイスをしてあげてください。

本には、いろんな世界があります。過去にも未来にも、海底にも宇宙にも行けます。大空を飛べたり、ヒーローになったりもできます。**ドラえもののポケットのような本を、これからもたくさん読んで、いろんな世界を旅してほしいです。**